

大腿四頭筋切除後の膝伸展機能の予測因子に関する研究

1. 研究の対象

2011 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日までに大阪国際がんセンターで悪性骨軟部腫瘍に対して大腿四頭筋を切除範囲に含む手術を施行された方

2. 研究の概要

悪性軟部腫瘍患者は希少がんの一種であり、主に大腿前面に発生することが多いとされています。悪性骨軟部腫瘍患者に対する手術は筋肉や骨、神経の切除を含むことが多く、術後の身体機能を低下させるとされています。特に、大腿四頭筋を切除した場合は、膝伸展筋力を低下させるため膝折れや転倒、骨折のリスクが増大するとされています。現在は大腿四頭筋切除後の膝伸展筋力の改善経過は現時点で十分に明らかにはなっていません。しかし、臨床場面において患者様の身体機能の改善経過を適切に把握し、リハビリテーションを提供する必要があると考えています。したがって、本研究の目的は大腿四頭筋切除後の膝伸展筋力の改善に関する予測因子を明らかとし、適切なリハビリテーション計画の立案が可能となり、患者様の歩行能力を予測することを目的としています。

研究課題名：大腿部悪性骨軟部腫瘍患者術後の膝伸展機能予測因子に関する探索的研究

研究期間：総長の研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

研究目的：大腿四頭筋切除後の膝の筋力を明らかにすることです。

研究方法：研究対象者の方の診療録を後ろ向きに調査し、術式、アプローチ、背景因子、治療方法、身体機能などを評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、病名、血液データ、併存疾患、治療内容、手術情報、術後合併症、身体機能、筋肉量、術後の再入院、術後の再発、全生存期間等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター リハビリテーション科 研究責任者 高尾 浩資

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上